令和3年度

日本原子力研究開発機構

英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（和文課題名を記載。契約時の課題名と一致させてください。）

（契約番号　R03I○○○）

（契約番号を記載。番号は毎年変わります。）

成果報告書

令和4年3月

○○○○○○○（代表機関名を正式名称で記載）

本文の和文・英文フォントは、報告書全体で揃えてください。

図表はできる限り１つのフォントに揃えてください。

フォントサイズは、10.5ポイントにしてください。

余白は、上下28㎜以上、左右25㎜以上にしてください。

誤字脱字の確認、スペルチェックをお願いします。

執筆の際には「成果報告書チェックリスト【作成時の必須項目】」をご覧ください。

ヘッダーはそのまま残し、変更しないでください。

フッターの「JAEA管理用」 および 下段「＃（JAEA管理用）」は消さないでください。

本報告書は、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の「英知を結集した原子力科学技術･人材育成推進事業」による委託業務として、○○○○○○（代表機関名を正式名称で記載）が実施した「○○○○○○○○○○○○○○○（和文課題名を記載）」の令和3年度（最終年度の場合：令和〇年度から令和3年度）の研究成果を取りまとめたものです。

目次

概略 ⅵ

1.　はじめに 1

1.1　○○ 1

2.　業務計画 2

2.1　全体計画 2

2.2　実施体制 3

2.3令和3年度の成果の目標及び業務の実施方法 3

2.3.1　○○ 3

2.3.2　○○ 3

3.　実施内容及び成果 4

3.1　○○ 4

3.1.1　○○ 4

3.1.2　○○ 4

3.1.3　まとめ 4

3.2　○○ 5

3.2.1　○○ 5

3.2.2　○○ 5

3.2.3　まとめ 5

3.3　○○ 6

3.3.1　○○ 6

3.3.2　○○ 6

3.3.3　まとめ 6

3.4　○○ 7

3.4.1　○○ 7

3.4.2　○○ 7

3.4.3　まとめ 7

4.　結言 8

参考文献 9

・目次は、「項」まで記載してください。

　【例】 「章」　3.

「節」　3.1

「項」　3.1.1

※「目」（3.1.1.1）以降は、記載しないでください。

・目次の見出しとページ数を、スペースを空けずに点線でつないでください。

・ページ数の記載は右端を揃えてください。

・ページ数は、全体で通し番号、あるいは章毎に付与してください。

・提出前に、ジャンプ機能等の設定は解除してください。

執筆者リスト（以下は記載例です）

事業代表者

国立大学法人○○大学 教授 ○○○○

 准教授 ○○○○

委託先

○○株式会社 主任研究員 ○○○○

 ○○○○

連携先

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 グループリーダー ○○○○

・正式名称で記載してください。

表一覧

表1.1-1　 ○○○○ 5

表2.1-10　○○○○ 12

・タイトルの左端を揃えてください。

・ページ数の記載は、右端を揃えてください。

・詳細説明部分は記載しないでください。

・表番号は、必ず本文中で参照してください。

・表一覧は、「図・表・写真リスト（許諾確認用）」と一致させてください。

・許諾が不要となるものは、完全オリジナルで作成したものです。

・引用した場合は、その出典元を明記してください。

・元の図表等に手を加えた（改変した）場合は、「引用」にあたりません。

「転載」になりますので、著作権者の許諾を得て、その旨を明記してください。

・許諾が不要となる場合は、その理由を、許諾を得たものについては、その旨を、

「図・表・写真リスト（許諾確認用）」に記載してください。

図一覧

図2.1-1　 ○○○○ 5

図3.1-10　○○○○ 23

・タイトルの左端を揃えてください。

・ページ数の記載は、右端を揃えてください。

・詳細説明部分は記載しないでください。

・図番号は、必ず本文中で参照してください。

・図一覧は、「図・表・写真リスト（許諾確認用）」と一致させてください。

・許諾が不要となるものは、完全オリジナルで作成したものです。

・引用した場合は、その出典元を明記してください。

・元の図表等に手を加えた（改変した）場合は、「引用」にあたりません。

「転載」になりますので、著作権者の許諾を得て、その旨を明記してください。

・許諾が不要となる場合は、その理由を、許諾を得たものについては、その旨を、

「図・表・写真リスト（許諾確認用）」に記載してください。

略語一覧

JAEA ：Japan Atomic Energy Agency（国立研究開発法人日本原子力研究開発機構）

CLADS ：Collaborative Laboratories for Advanced Decommissioning Science

（廃炉環境国際共同研究センター）

東電 ：東京電力ホールディングス株式会社

1F ：東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所

阪大 ：国立大学法人大阪大学

高純度研 ：株式会社高純度化学研究所

○○ ：○○○○

・「：」の位置をなるべく揃えてください。

概略

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

前年度までの成果報告書：

JAEA-Review 20○○-○○

　URL：http○○○○○○○○○○○○○○○○○○

・令和2年度以前に採択された課題は、前年度までの成果概要も記載ください。

（JAEA-Review番号とURLも記載ください。）

・最終年度は、当該年度も含めた事業全体の成果を記載ください。

・文章の右端を揃えてください。（両端揃え設定）

1.　はじめに

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

・文章の右端を揃えてください。（両端揃え設定）

2.　業務計画

2.1　全体計画

・全体計画を記載してください。

・文章全体で、「章」「節」「項」「目」、それぞれの左端を揃えてください。

・「章」「節」「項」「目」と、タイトルの間にスペースを入れてください。

（例）3.　実施内容及び成果

　　　　3.1　○○

　　　　　3.1.1　○○

　　　　　　①　○○

　　　　　　②　○○

　　　　　3.1.2　○○

2.2　実施体制

全体の実施体制図を記載してください。以下は記載例です。

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

課題全体の取りまとめ

○○○○大学　　　事業代表者　○○○○

2. ○○○○○

(1) ○○○○○

(2) ○○○○○

1. ○○○○○

(1) ○○○○○

(2) ○○○○○

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

再委託先（連携機関）2

○○○○○○

（再委託する実施項目の内容）

再委託先（連携機関）1

○○○○○○

（再委託する実施項目の内容）

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

研究責任者

○○○○

・試験

・実験装置設計

○○○○

・○○

・○○

研究責任者

3.　実施内容及び成果

・令和3年度が最終年度の課題　　：全体の実施内容及び成果をまとめて記載。

・令和3年度が初年度の課題　　　：令和3年度の実施内容及び成果を最初の項に記載。

（例：3.1.1と3.2.1、3.3.1等）

・令和3年度が継続中の年度の課題：令和2年度までの実施内容及び成果を最初の項に記載。

（例：3.1.1、3.2.1、3.3.1等）

令和3年度の実施内容及び成果を次の項に記載。

（例：3.1.2と3.2.2、3.3.2等）

・共通事項

・PO、PDによる研究内容の軌道修正が入った場合は、その経緯を含めて該当する年度の

実施内容及び成果の項に記載ください。

・節ごとに、「まとめ」として、事業の目的に対してどのような成果が得られたのかを

明記ください。

・以下は、令和元年度採択課題での例示です。

3.1　○○

3.1.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

図3-1　○○画像（著者/社名，頁数，発行年，○○より許諾を得て転載）

3.1.2　令和3年度実施内容及び成果

3.1.3　まとめ

3.2　○○

3.2.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

図3-2　○○画像（出典：東京電力ホールディングス）

3.2.2　令和3年度実施内容及び成果

図3-3　○○画像と分布

(a)○○　(b)○○　(c)○○

3.2.3　まとめ

3.3　○○

3.3.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

3.3.2　令和3年度実施内容及び成果

3.3.3　まとめ

3.4　○○

3.4.1　令和2年度までの実施内容及び成果（概要）

3.4.2　令和3年度実施内容及び成果

3.4.3　まとめ

4.　結言

〇〇

・事業目的に対してどのような成果が得られたのか、目標が達成されたかどうか、今後の課題について明記してください。

参考文献

[1]　未来花子, 山田太郎他, 火山地域における…, 火山会報, vol.48, no.5, 2003, pp.407-413.

[2]　Ledezma, G. et al., Heat Sinks with …, J. Am. Soc. Inf. Sci. Technol., vol.48, no.5, 2003, p.407.

[3]　原子力規制…, 航空機モニタリング…, http://radio…………………（参照：202X年YY月ZZ日）.

[4]　Sakai, T. et al., Study on the ……, Reno, USA, 2006, Paper 6409, 7p., in CD-ROM.

[5]　機構太郎, 私信.

[6]　井出太郎, 界面制御と…, シグマ出版, 1995, 250p.

[7]　Kumazaki, Y., Published Electronic Media……, Proceedings of 20th International Conference on …, New Orleans, 2019, pp.99-104.

[8]　日本原子力研究開発機構, 第一大学, 六極不均一……, JAEA-Review 2020-088, 2020, 78p.

・参考文献は、成果報告書の巻末にまとめて、順番に番号（[1]、[2]…）を付けてください。

巻末にまとめられない場合は、成果報告書内で番号が重複しないようにしてください。

・参考文献の番号（[1]、[2]…）を、本文中に参照してください。

半角で、個々に表示してください。

（例）○○の作製[1][2][3]　　○○の作製[1][2][3]

・参考文献の原文のタイトルを、「正確に」記載してください。

（原文が日本語の場合は、日本語で記載）

・参考文献の著者名は、なるべく姓、名の順に記載してください。

（例）未来花子　Mirai, H.

・ページが、1ページの場合は、「p.407」

複数ページの場合は「pp.407-413」

総ページ数の場合は「413p.」、のように記載してください。

・ウェブ上に掲載された情報を記載する際には、上記のように参照日も記載してください。

参考文献として明記するURLにつきましては、執筆の都度、URLが有効であることを確認していただき、確認した日を参照日として明記してください。そのため、参照日は、執筆中～投稿日までの間になります。

DOIがあるものにつきましては、DOIを記載してください。（URLと参照日の記載は不要です）

・文献番号の左端を揃えてください。

・なるべく右端も揃えてください。（両端揃え設定）